

様式

技術名称	マルチジェット工法 (自由形状・大口径高圧噴射攪拌工法)	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無
会社名等	前田建設工業株式会社	担当者	土木設計・技術部	山内 崇寛	連絡先 03-5217-9563 yamauchi.tak@jcity.maeda.co.jp
技術の概要	従来の高圧噴射攪拌工法は、一般的に円形状で改良半径が小さいため、改良範囲の無駄と削孔本数の増加が生じていた。本工法は、専用ロッド(多孔管)を回転でなく揺動させることにより、円形状改良に加え、壁状、扇形、格子状など自由形状の造成を可能とした。また、ツインノズルと高性能整流装置を有した先端モニターにより、最大半径4.0m(直径φ8.0m)までの造成を可能とした。これにより、必要改良範囲の効率的改良(無駄な改良をなくす)、削孔本数の低減が可能となり、低コスト・工期短縮を実現した。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料		
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 任意形状改良体構築により、必要範囲を無駄なく改良でき、従来工法に比べて10~30%のコスト低減・工期短縮が図れます(改良ボリューム、施工本数の低減)。</li> <li>② 礫を多く含む盛土や埋戻し土にも適用可能です。</li> <li>③ 大口径改良体により、地上および地中に支障物が多い場合や既設構造物直下の改良を行う場合など、造成用の削孔位置が限定される場面では特に有利となります。</li> <li>④ 造成に伴う排泥の処分が必要となります(他工法より削減が可能)。</li> <li>⑤ 標準施工では25tクレーンが必要となります。</li> <li>⑥ 200m<sup>2</sup>程度のプラントヤードが必要となります。</li> <li>⑦ プラントヤードと施工ヤードまでの距離が150mを超える場合は段取り替えが必要です。</li> </ul>	その他	特許:第1946033号 他17件 実用新案:第3115498号 建設技術審査証明:第0901号		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。